

◆ 港都税事務所長賞 ◆

「税のほんとうのあり方」

学校法人山脇学園中学校 3年 市川 紗妃

みなさんは税金と言われたら何を思い浮かべますか。おそらく一番最初に思いつくのは消費税でしょう。私は「消費税がなかったらもっと安いのかなあ」と思ったことが何度もあります。だから私は、この作文を書くまで税についてなにも知らなかったの、税とは私たちに負担をかけるもの、人を残念な気持ちにさせるものという印象しかありませんでした。ですが、その税金は世の中に大きく有利に働いているものであると知りました。

私たちは普段一日のうちでどれだけ税金に関わっているのか知っていますか。調べてみると数えきれないほどあったので少し省略して紹介します。

まず起きたら顔を洗ったり、食事を摂ったりしますよね。これには水道代が使われています。そして登校するとき道を歩くと道路や信号、橋などがあります。これにも税金が使われています。通っている学校にだって、建設や机、椅子、教科書、全てに税金がかかります。放課後の部活にも校庭や体育館の建設費用がかかっています。そして、夕食には安全な食品を作るための農業や漁業の支援にも税金は必要です。また、それらを買うためにも先程あげた消費税が必要です。寝る時には安心な夜を過ごすため、街を守るために警察や消防署が必要で税金がなくては成り立ちません。このように私たちが過ごす一日では膨大な税金がかかっています。そして、それらがなくては街が成り立たないほど重要な役割をしているのです。私はこれを知った時、日々こんなに税金に支えられているとは思わなかったのととても驚きました。税金なんて無くても良いのではないかと思っていた自分はなにも知らずに考えていたなと反省しました。

税金が欠かせないものである一方で税金のあり方には課題もたくさんあります。「新型コロナウイルス感染症対策」への対応や、急増する「自然災害」への対応もまだ十分とは言えません。少子高齢化などの人口問題、自然災害などの地球環境問題および新型コロナウイルスのような未曾有の社会問題に多くの税金が使われています。ですがそれだけでなく、議員が税金を無駄遣いしていたなどの問題もニュースでよく耳にします。だからまずはわたしたちが気をつけて意識しなければいけないのではないかと私は思います。

このような多岐にわたる課題がある中で、「税の負担」がどうあるべきか一人一人が関心を持つことは主権者として、とても大切なことです。税のあり方を考えることは、将来の日本の姿を考えることに繋がります。だから誰もが安心して生活できる幸せな社会をつくるために、私たちの社会の税についてこれからも考えていき、まずは自分自身の心構えから意識していくべきだと私は考えます。